

外国語活動・外国語研究部

1 研究主題

「生きたコミュニケーション体験を通じた外国語活動・外国語科の展開
～英語で思いを伝え合うための資質・能力の育成に向けて～」

2 研究主題について

「生きたコミュニケーション体験」とは、「人とつながる楽しさ」を目指したコミュニケーション体験のことである。「うれしかった」「分かった」「ああ、そうか」などの感情を伴う活動を大切にしながら授業を行い、人とのつながりが新たに生まれたり、深まったりすることで、学級づくりや子どもの自己肯定感の向上等にも関連していくと考える。

3 研究方法

コロナ禍のため、ZOOMでの会議を活用した。また、第二次教育研究大会もZOOMで実施した。集合した形で研究会を行う場合は、会場を広くし換気をよくするなど工夫をした。

研究内容として次の3つを設定した。

① 資質・能力の明確化

- ・児童の実態から出された課題を資質・能力の視点から分類し、単元全体や1時間の授業で、どの資質・能力を向上させるかを明確にもつ。

② 言語活動を重視した授業づくり

- ・資質・能力を育成するためにどのような言語活動が適しているかを考える。

③ 評価のあり方

- ・児童の活動に対する評価と分析の仕方並びに児童へのフィードバックの仕方。

4 年間活動(事業)報告

4月22日(水)		中止
5月13日(水)		中止
6月10日(水)	斎藤分 小学校	研修会 「評価について」 講師 教育課程推進室 主任指導主事 西村秀之先生
7月1日(水)	斎藤分 小学校	育てたい資質・能力に基づいた授業づくりのポイント
9月9日(水)	斎藤分 小学校	協働指導案作成
10月7日(水)	斎藤分 小学校	小中合同研修会
11月4日(水)	帷子小学校	実践提案

12月2日(水)	みなとみらい 本町小学校	講演会 「英語好きの児童を育てる授業づくり～教科書を活用して」 文教大学国際学部教授 阿野 幸一 先生
1月13日(水)		中止
2月10日(水)	zoom	第二次教育研究大会 「生きたコミュニケーション体験を通じた外国語活動・外国語科の展開～英語で思いを伝え合うための資質・能力の育成に向けて～」
3月3日(水)		中止

5 研究の成果と課題

成果

- 10月の研修会では、まずは資質・能力の面での課題を挙げて、次にそれを解決するための手立てとしての言語活動の設定について提案があった。
- 実践提案やそれに向けた協働での指導案作成を行い、様々な言語活動の例を共有することができた。
- 講演会、研修会等を通じて、新学習指導要領改訂の趣旨や評価のあり方について周知を図ることができた。
- 授業研究会、実践提案等を通じて、生きたコミュニケーション体験を通じた授業のあり方について大切にしたいことなどの共有を図ることができた。
- 資質・能力の育成を図る授業のあり方等について話し合うことで、評価の重要性について意識することができた。

課題

- 「児童の実態から資質・能力の課題を出すこと」を授業づくりのスタートとする流れをもっと意識することが必要である。
- 評価については、まずは課題となる資質・能力が設定できてからのものとなる。今年度は主に資質・能力に対しての研究に主眼を置いていた。次年度は育成する資質・能力に対しての評価をもっと意識する必要がある。
- 子どもに育成したい資質・能力については、新指導要領の趣旨をふまえながら授業実践等を通じて、さらに具体的に明確にしていく必要がある。
- 5、6年生は外国語科と教科化することに伴い教科書を活用している。教科書を効果的に活用した授業のあり方を追求する必要がある。
- コロナ禍を前提としてZOOMなどのオンラインの形を進める必要がある。